

演題

## 「Necessity of conventional prosthetic dentistry with digitization」

～デジタル化に向けた従来の歯科技工技術の必要性～

講師 藤松 剛（ふじまつたけし）

デジタル化への進歩がめざましい現在の歯科の状況を、海外の情報を通じて国内の臨床にどう活かしていくかを中心に私自身の考えをお伝えしたい。

従来の歯科技工の技術と知識の重要性をデジタルワークフローと重ねて説明させて頂こうと思う。